

都市基盤整備特別委員会 送付30-5

区営四番町アパートの建替えに関する陳情

受付年月日 平成30年2月13日

陳情者

陳情書

(趣旨)

築30年程度の区営四番町アパートの建替え計画に対して、居住者と少なくとも区民が今なお、建替えの必要性を理解できないでいます。

区営四番町アパートの建替えに私たちが疑問を持つのは、主に3つの理由によります。ひとつは、税金の無駄遣いとなるからです。このアパートは、区の調査で建物の「安全性」が確認され、室内のバリアフリー化工事も施され、60年間使用できるように屋上防水や給・排水管の修繕工事等も実施されてきました。その建物を壊した上、建替え期間中の仮住宅に20億円もの税金を注ぐのは無駄遣いというほかありません。

二つ目は、建替えに至る経過が不透明だからです。四番町保育園と児童館の「大規模改修」(公有財産白書)、「建替に位置づく区営住宅はない」(公営住宅等長寿命化計画)とした当初の計画が、四番町保育園・児童館・区営住宅の「機能更新」(ちよだみらいプロジェクト)に変わり、さらに隣接する複合施設(区営アパート・図書館・職員住宅)まで含む大規模な建替計画へと変転しました。行政計画が二転三転したのはなぜでしょうか。

三つ目は、仮住宅の立地場所と施設内容についての不安です。仮住宅建設地である旧千代田保健所麴町庁舎の近所の方からは「店が少ない」「坂が多く高齢者の生活には不向き」といった声が聞かれます。果たして車いす利用者など障害を持つ方や高齢者が生活できるのでしょうか。

さらに区営アパートと比べると施設内容が不安です。例えば安全性です。現在は避難階段が2方向(職員住宅を含めると3方向)で確保されていますが、仮住宅は1方向だけです。仮住宅には多くの高齢者が生活し、仮住宅後の利用策として高齢者向け住宅も検討されていると伺っております。それなら猶のこと、立地場所と安全性の両面から仮住宅の再検討が求められるのではないのでしょうか。

よって、区営四番町アパートの建替えに関しては、以上の3つの問題について居住者と区民の疑問を取り除き同意を得ることに、最優先で取り組んでいただきたく陳情いたします。

平成30年2月13日

千代田区議会議長 松本 佳子 殿